



子どもの周りは危険がいっぱい！！事故予防について子どもの目線で考えてみませんか？

1歳から9歳までの子どもの死亡原因で多いものに「不慮の事故」があります。死亡に至らないまでも、一歩間違えば重大な事故に繋がるものも日常生活の中で多発しています。これまで事故は、『全く予測できないこと』と考えられていましたが、最近では、子どもの事故は、予防可能な事故が多いことがわかってきました。

子どもの事故予防のためにできることは

目を離していても安心・安全な環境を作ることです！！



リビングでの危険

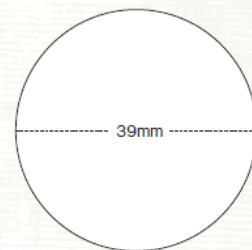
6か月を過ぎると、手で掴んだものは何でも口に入れる特徴があります。

誤飲や窒息に注意！！

直径39mmより小さいものは誤飲の危険があります。1m以上高い位置に置き、落ちないように注意する！！

赤ちゃんの周りのものを確認しよう！

直径39mmの中を通るものは、赤ちゃんの口に入ります。トイレットペーパーの芯が、目安です。



タバコの誤飲が多い！！

子どもの目線で環境チェック



浴室での危険

階段での危険



台所での事故

寒い時期は、火や熱いものの取り扱いにも注意が必要です！！

編集後記：昨年度まで患者さんやご家族を対象に手洗いや救急蘇生など様々な企画を開催しておりましたが、コロナ渦により中止を余儀なくされました。今年度よりこの「CN 通信」で皆様にお伝えしていければと思います。ぜひご期待ください。